

令和1年度 リハビリテーション部 クリニカルインディケーター

目次

- ・当院リハビリテーション算定内容
- ・リハビリテーション患者内訳
- ・月別新患内訳
- ・算定単位数

当院リハビリテーション算定内容

- ・脳血管リハビリテーション料(Ⅰ)
- ・廃用症候群リハビリテーション料(Ⅰ)
- ・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
- ・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
- ・がん患者リハビリテーション料

脳血管リハビリテーション料（Ⅰ） 施設基準

- ①専任の常勤医2名以上（1名は当該リハの3年以上の経験者又は研修会等の受講歴・講師歴がある者）
- ②専従の常勤理学療法士が5名以上
- ③専従の常勤作業療法士が3名以上
- ④専従の常勤言語聴覚士（兼任可）1名以上
- ⑤②～④の従事者総数10名以上
- ⑥専用の機能訓練室160㎡以上、言語聴覚療法は8㎡以上の個室
—————などが要件

脳血管リハビリテーション料の対象患者

- ①脳梗塞、脳出血、くも膜下出血その他の急性発症した脳血管疾患又はその手術後の患者
- ②脳腫瘍、脳膿瘍、脊髄損傷、脊髄腫瘍その他の急性発症した中枢神経疾患又はその手術後の患者
- ③多発性神経炎、多発性硬化症、末梢神経障害その他の神経疾患の患者
- ④パーキンソン病、脊髄小脳変性症その他の慢性の神経筋疾患の患者
- ⑤失語症、失語及び失行症並びに高次脳機能障害の患者
- ⑥難聴や人工内耳植込手術等に伴う聴覚・言語機能の障害を有する患者
- ⑦顎・口腔の先天異常に伴う構音障害を有する患者

廃用症候群リハビリテーション料（Ⅰ）施設基準

- ①脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）を届け出ている。
- ②脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）の施設基準における専任の常勤医師、専従の常勤理学療法士、専従の常勤作業療法士及び専従の言語聴覚士は、それぞれ廃用症候群リハビリテーション料（Ⅰ）の専任者又は専従者を兼ねるものとする

廃用症候群リハビリテーション料の対象患者

- ①急性疾患等に伴う安静（治療の有無を問わない）による廃用症候群の患者（一定程度以上の基本動作能力、応用動作能力、言語聴覚能力、日常生活能力の低下を来しているもの）

運動器リハビリテーション料（Ⅰ） 施設基準

- ①専任の常勤医1名以上
 - ②専従の常勤理学療法士又は専従の常勤作業療法士が合わせて4名以上
 - ③専用の機能訓練室100㎡以上
- などが要件

運動器リハビリテーション料の対象患者

- ①上・下肢の複合損傷、脊椎損傷による四肢麻痺その他の急性発症した運動器疾患又はその手術後の患者
- ②関節の変性疾患、関節の炎症性疾患その他の慢性の運動器疾患により、一定程度以上の運動機能及び日常生活能力の低下を来している患者

呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ） 施設基準

- ①専任の常勤医1名以上
- ②専従の常勤理学療法士又は専従の常勤作業療法士が合わせて2名以上
（1名は当該リハの経験を有する専従の常勤理学療法士）
- ③専用の機能訓練室100㎡以上
————— などが要件

呼吸器リハビリテーション料の対象患者

- ①肺炎、無気肺、その他の急性発症した呼吸器疾患の患者
- ②肺腫瘍、胸部外傷その他の呼吸器疾患又はその手術後の患者
- ③慢性閉塞性肺疾患（COPD）、気管支喘息その他の慢性の呼吸器疾患により、一定程度以上の重症の呼吸困難や日常生活能力の低下を来している患者
- ④食道癌、胃癌、肝臓癌、咽・喉頭癌等の手術前後の呼吸機能訓練を要する患者

がん患者リハビリテーション料 施設基準

- ①専任の常勤医1名以上
- ②専従の常勤理学療法士・常勤作業療法士又は常勤言語聴覚士を2名以上配置
- ③専用の機能訓練室100㎡以上
- ④脳血管リハビリテーション料・廃用症候群リハビリテーション料・運動器リハビリテーション料・呼吸器リハビリテーション料との併算定不可
——— などが要件

がん患者リハビリテーション料の対象患者

- ①食道がん、肺がん、縦隔腫瘍、胃がん、肝臓がん、胆嚢がん、大腸がん又は膵臓がんと診断された患者であって、これらのがんの治療のために入院している間に閉鎖循環式全身麻酔による手術が行われる予定のもの又は行われたもの
- ②舌がん、口腔がん、咽頭がん、喉頭がんその他頸部リンパ節郭清を必要とするがんと診断された患者であって、これらのがんの治療のために入院している間に放射線治療若しくは閉鎖循環式全身麻酔による手術が行われる予定のもの又は行われたもの
- ③乳がんとして診断された患者であって、乳がんの治療のために入院している間にリンパ節郭清を伴う乳腺悪性腫瘍手術が行われる予定のもの又は行われたもの
- ④骨軟部腫瘍又はがんの骨転移と診断された患者であって、これらのがんの治療のために入院している間にこれらの部位に対する手術、化学療法若しくは放射線治療が行われる予定のもの又は行われたもの
- ⑤原発性脳腫瘍又は転移性脳腫瘍と診断された患者であって、これらのがんの治療のために入院している間に手術若しくは放射線治療が行われる予定のもの又は行われたもの
- ⑥血液腫瘍と診断された患者であって、血液腫瘍の治療のために入院している間に化学療法若しくは造血幹細胞移植が行われる予定のもの又は行われたもの
- ⑦がんとして診断された患者であって、がんの治療のために入院している間に化学療法(骨髄抑制が見込まれるものに限る)が行われる予定のもの又は行われたもの
- ⑧緩和ケアを目的とした治療を行っている進行がん又は末期がんの患者であって、症状の増悪により入院している間に在宅復帰を目的としたリハビリテーションが必要なもの

呼吸器

14
2%

がん
22
4%

運動器
79
14%

脳血管
152
28%

平成30年度
リハビリテーション
患者内訳

新患者 551人

廃用
284
52%

呼吸器
36
6%

がん
55
9%

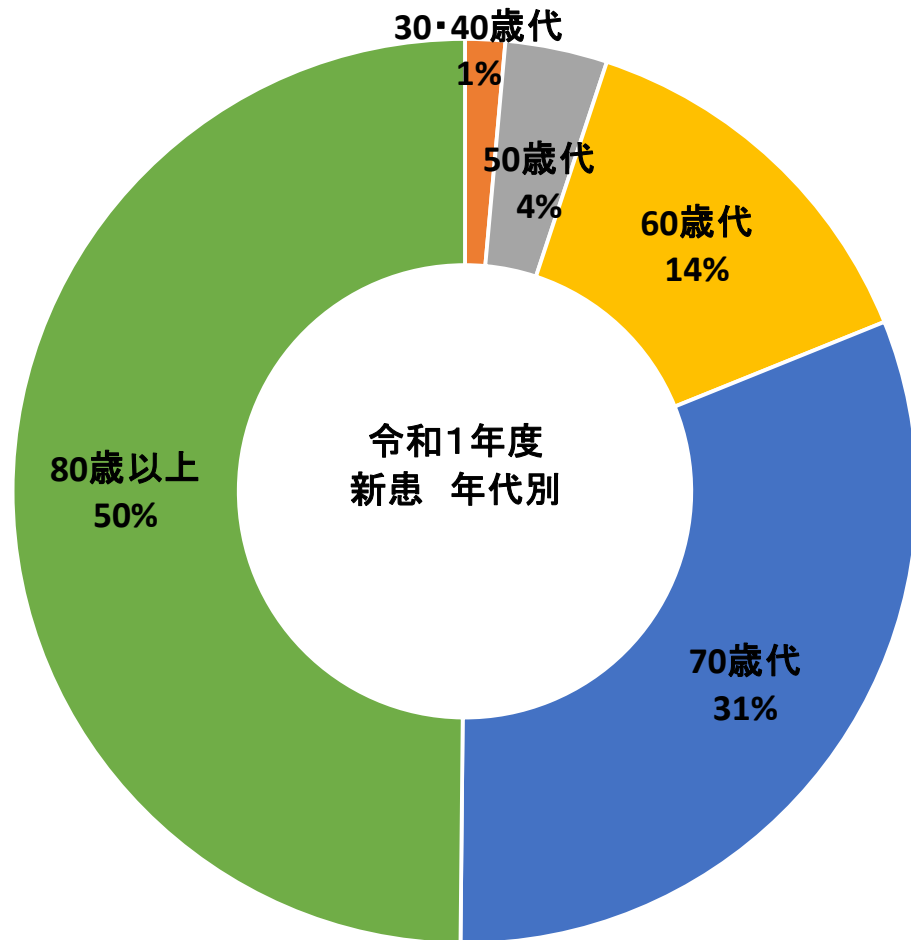
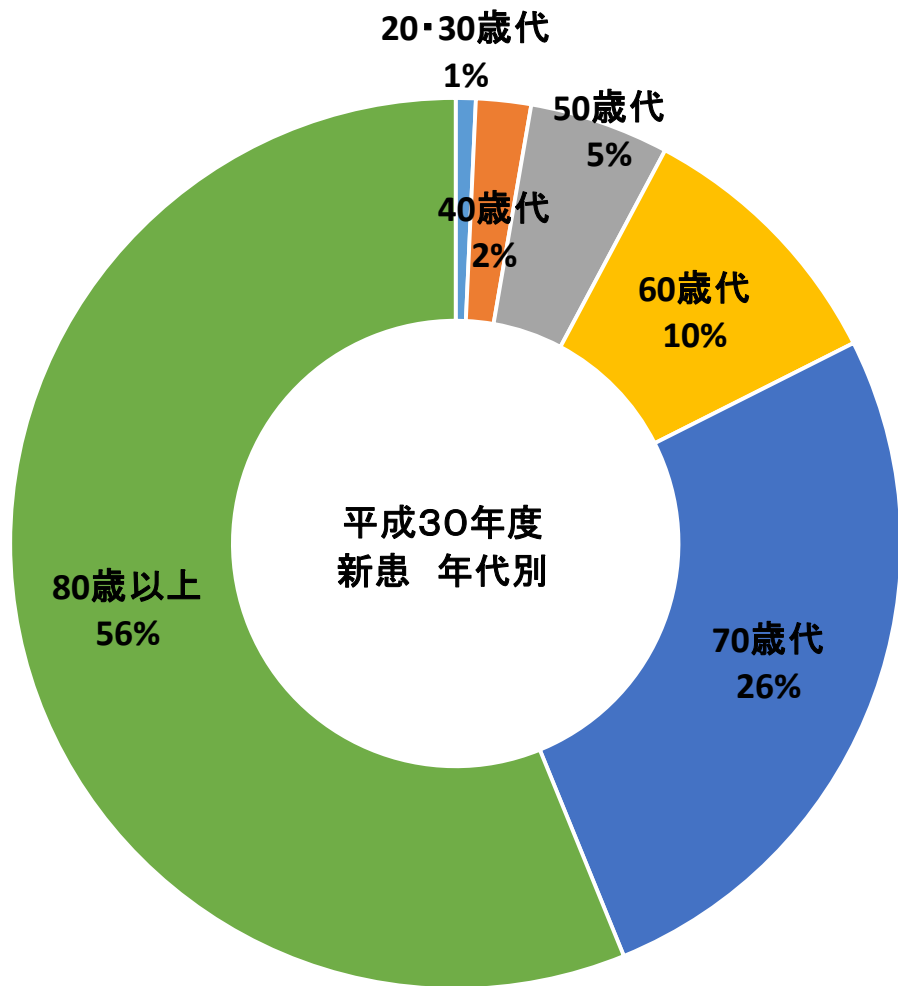
運動器
94
15%

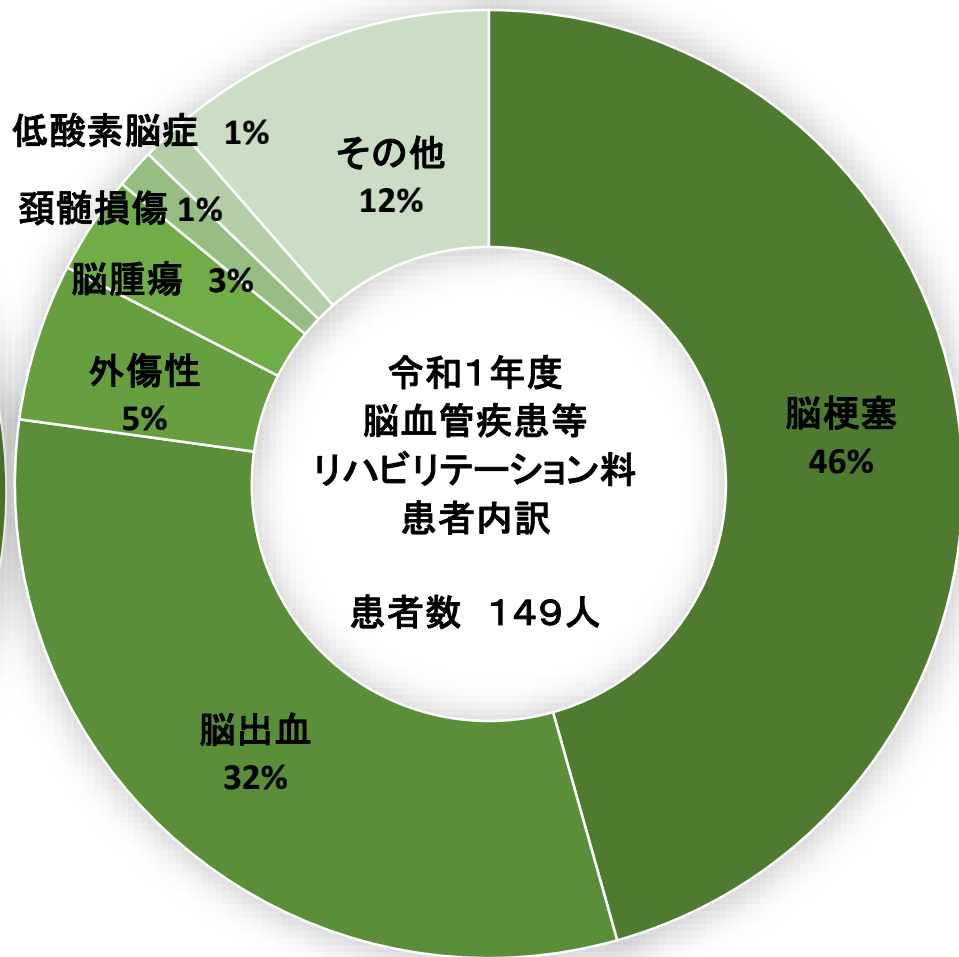
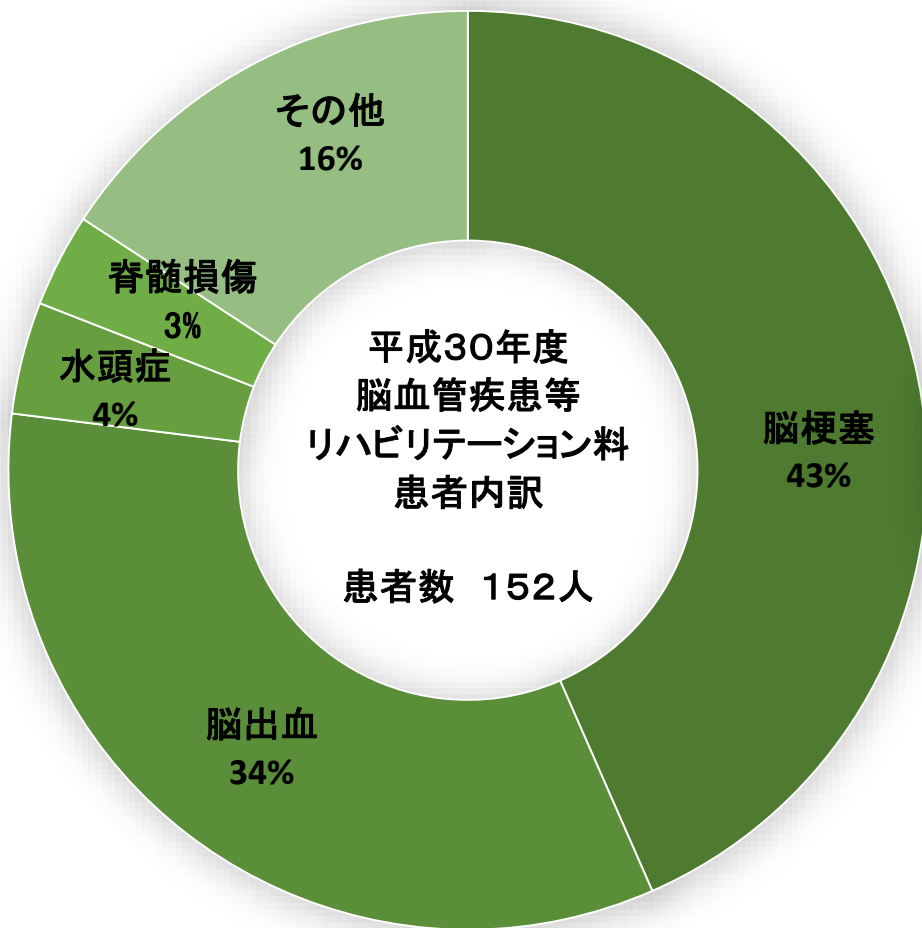
脳血管
149
23%

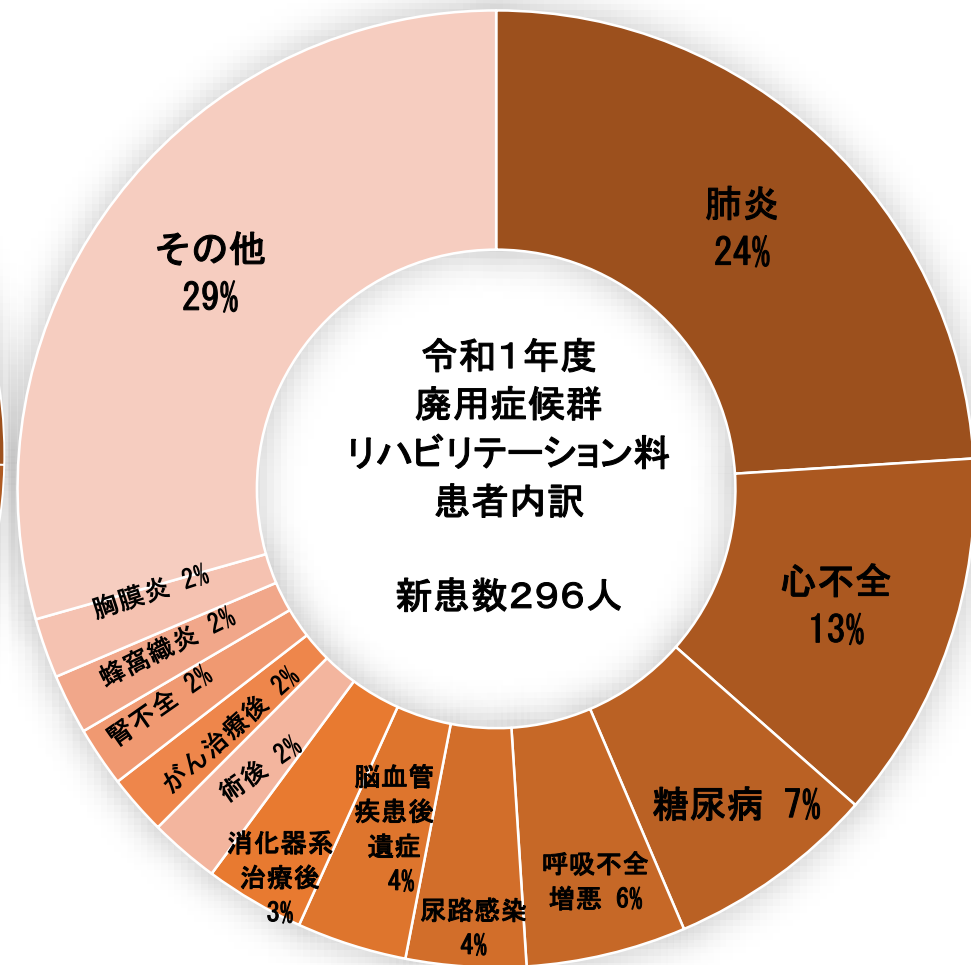
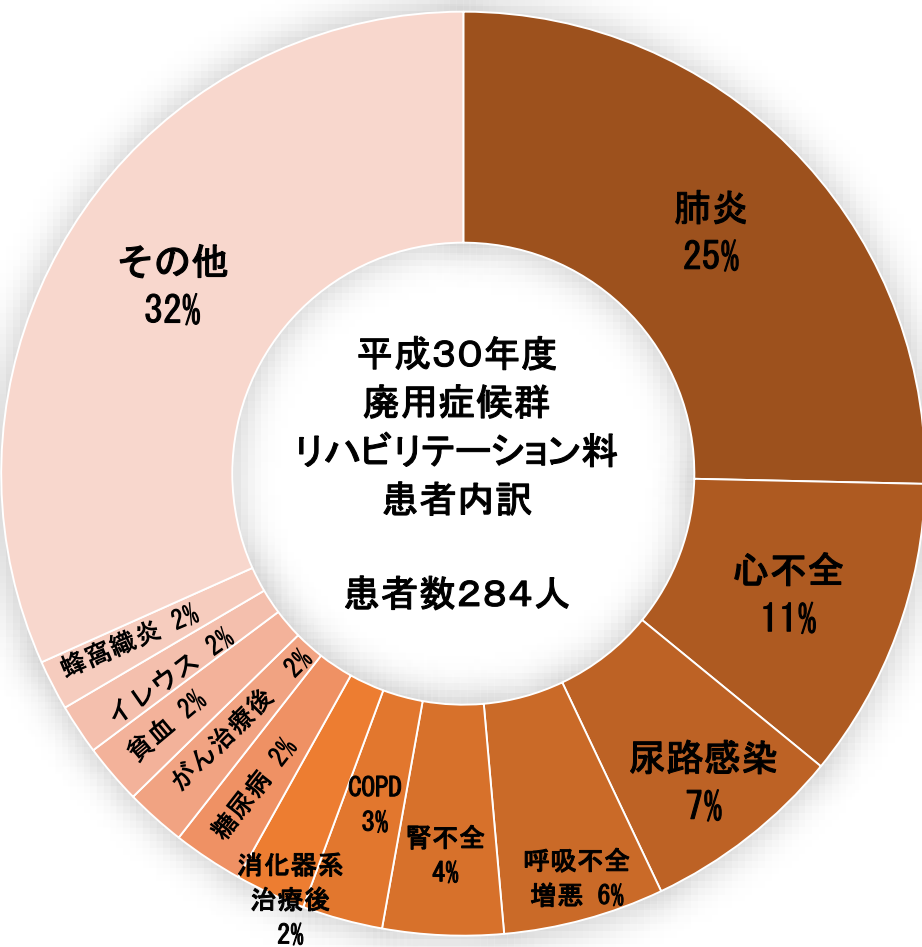
令和1年度
リハビリテーション
患者内訳

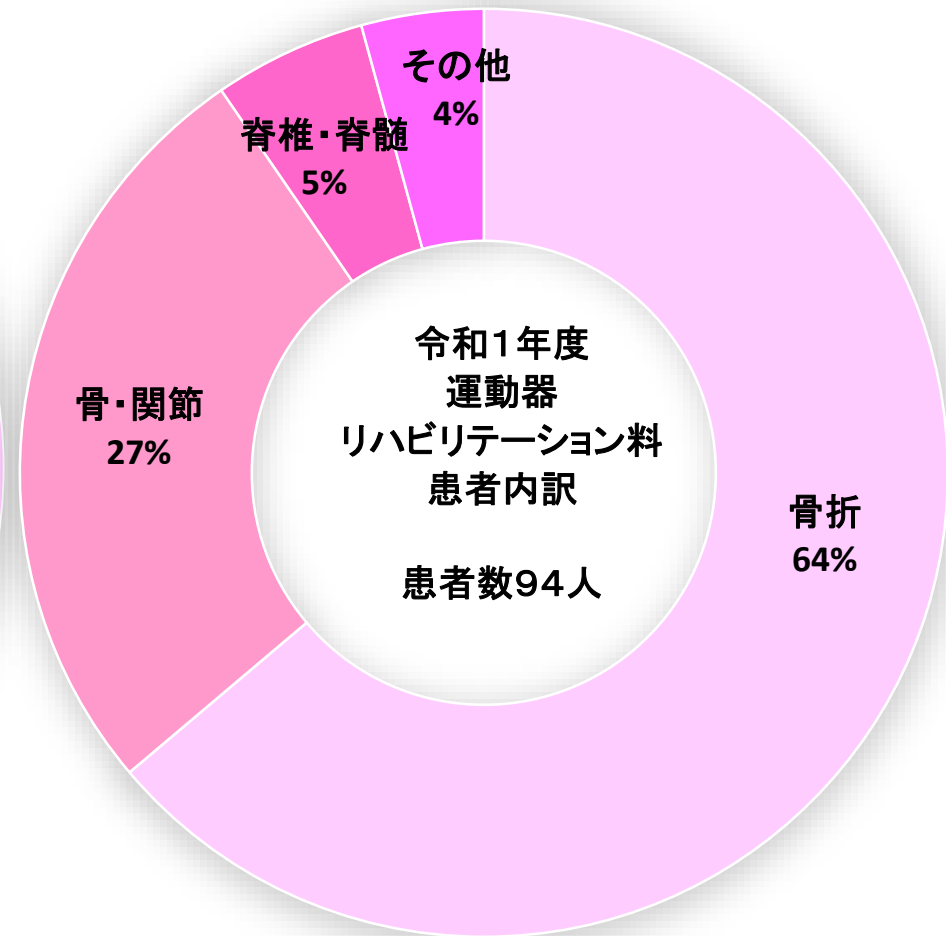
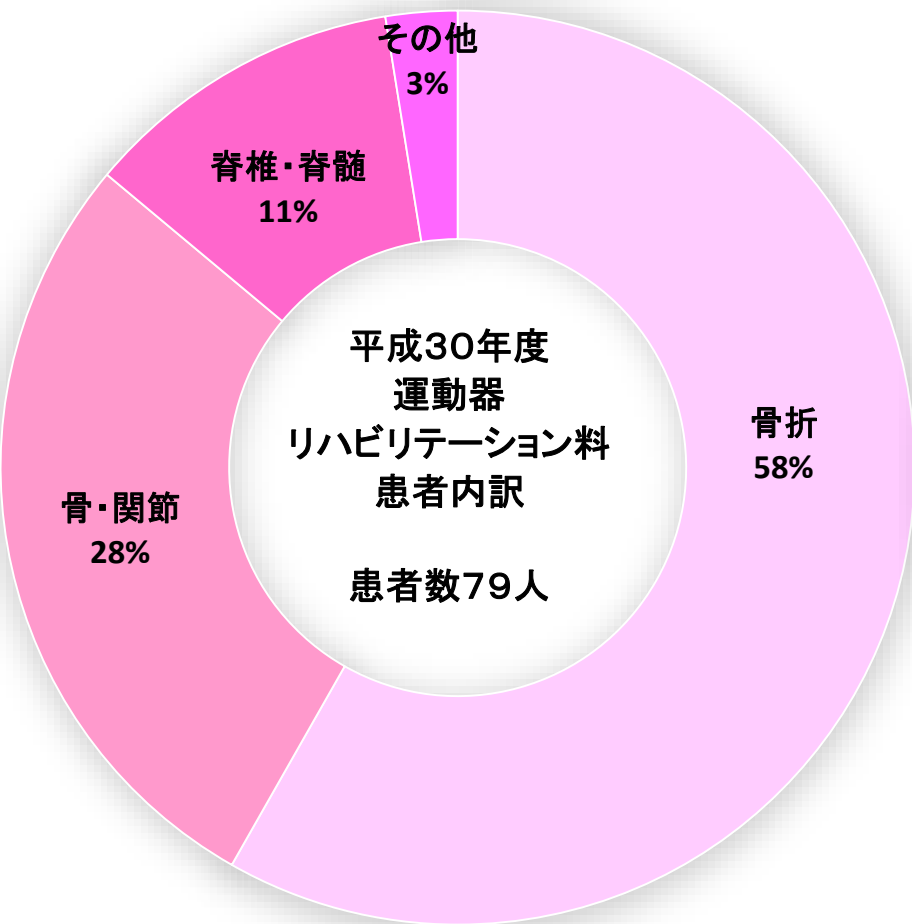
新患者 630人

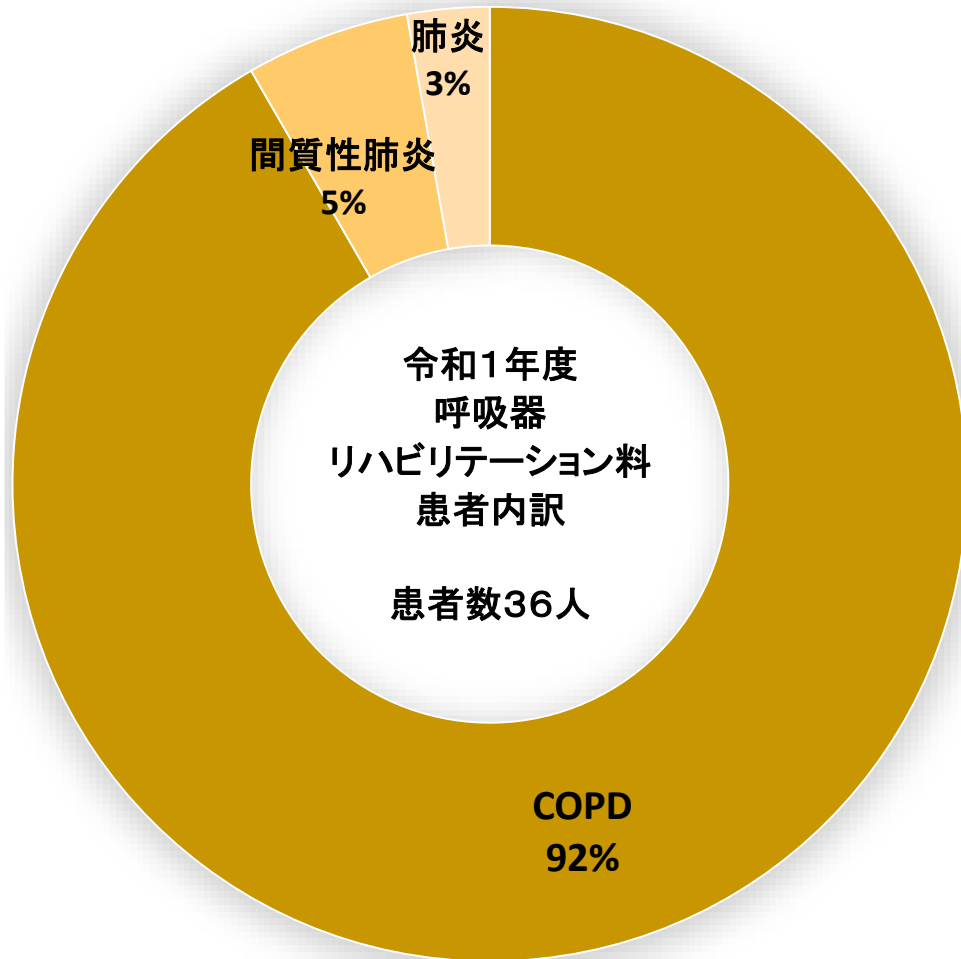
廃用
296
47%

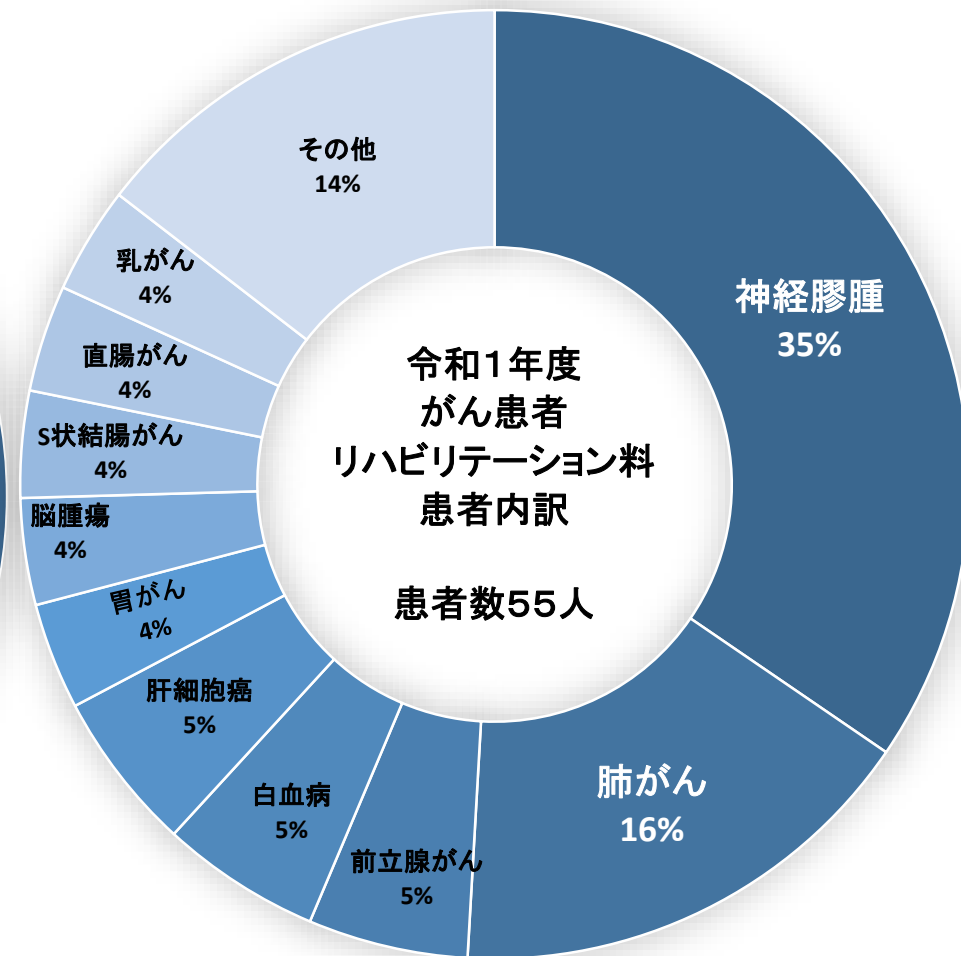
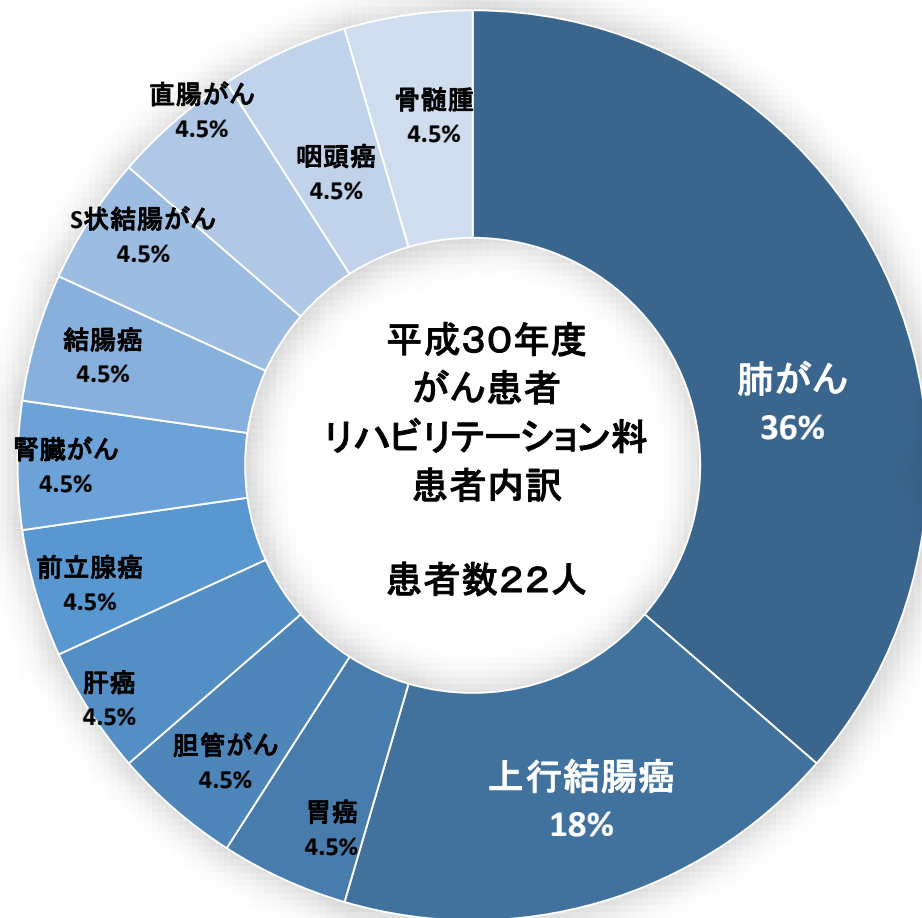




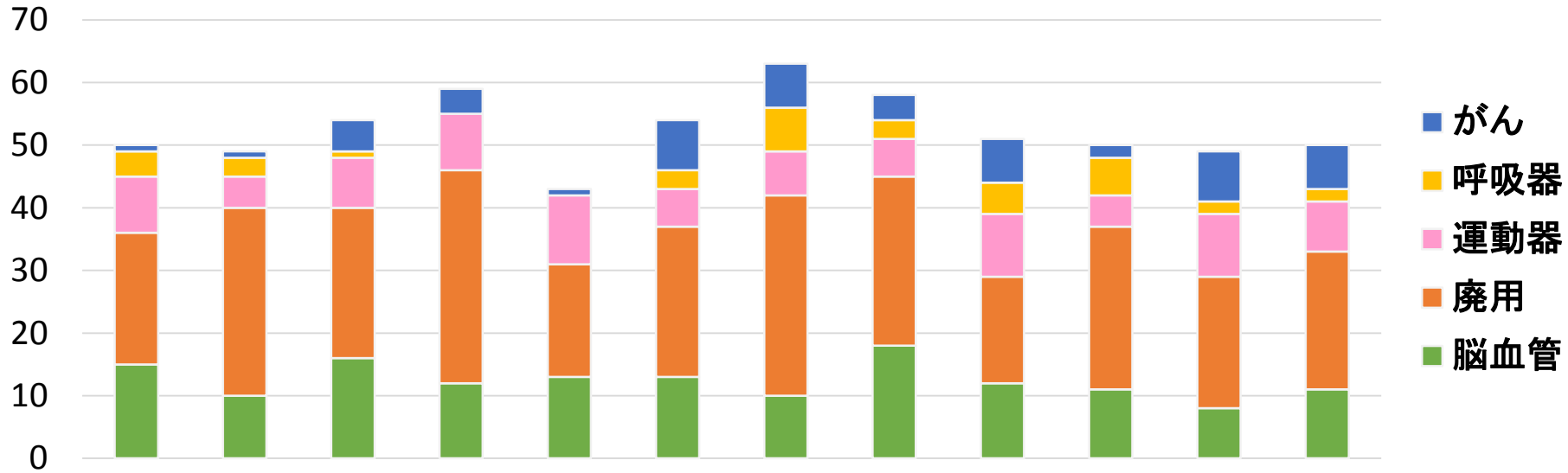






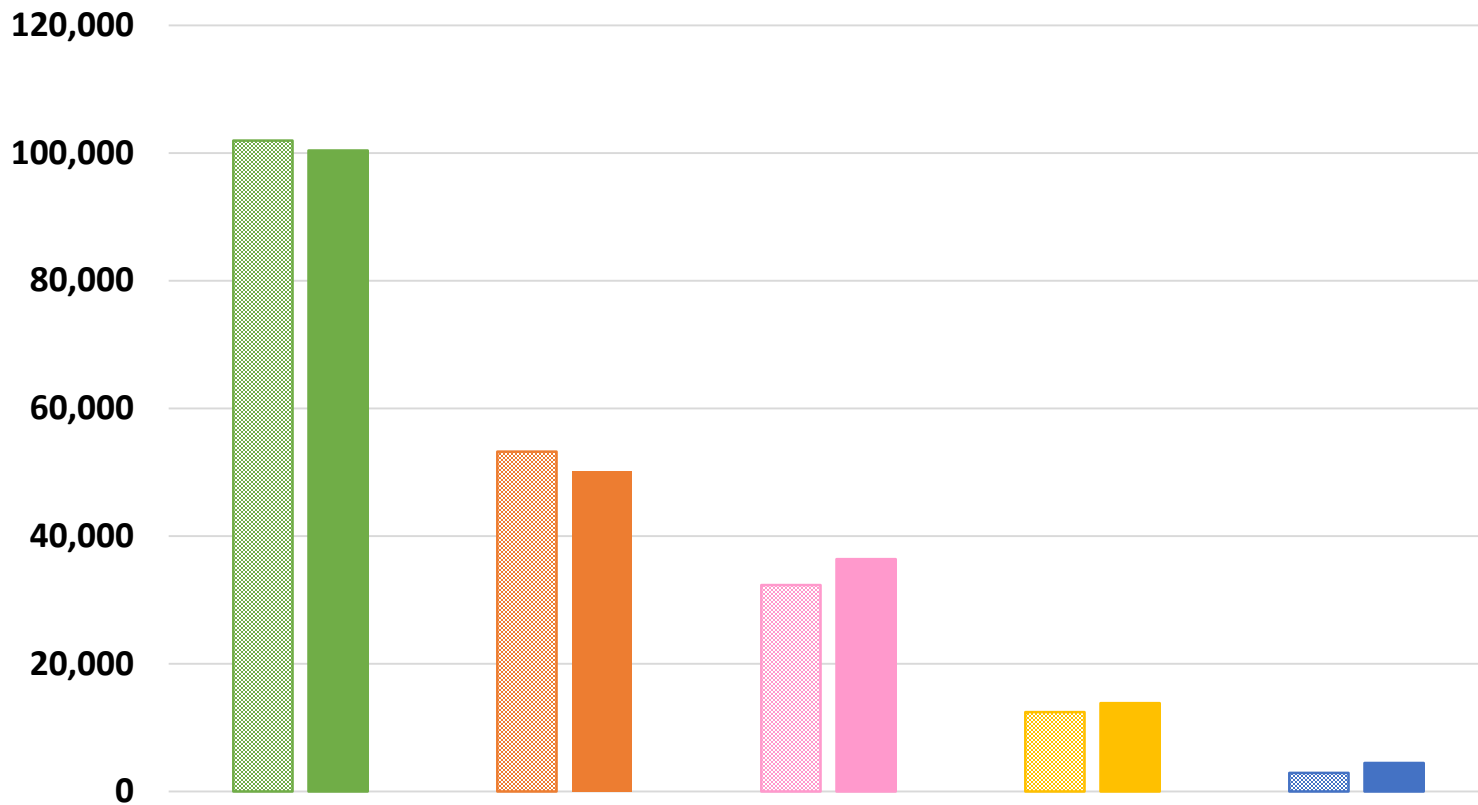


令和1年度 月別新患内訳



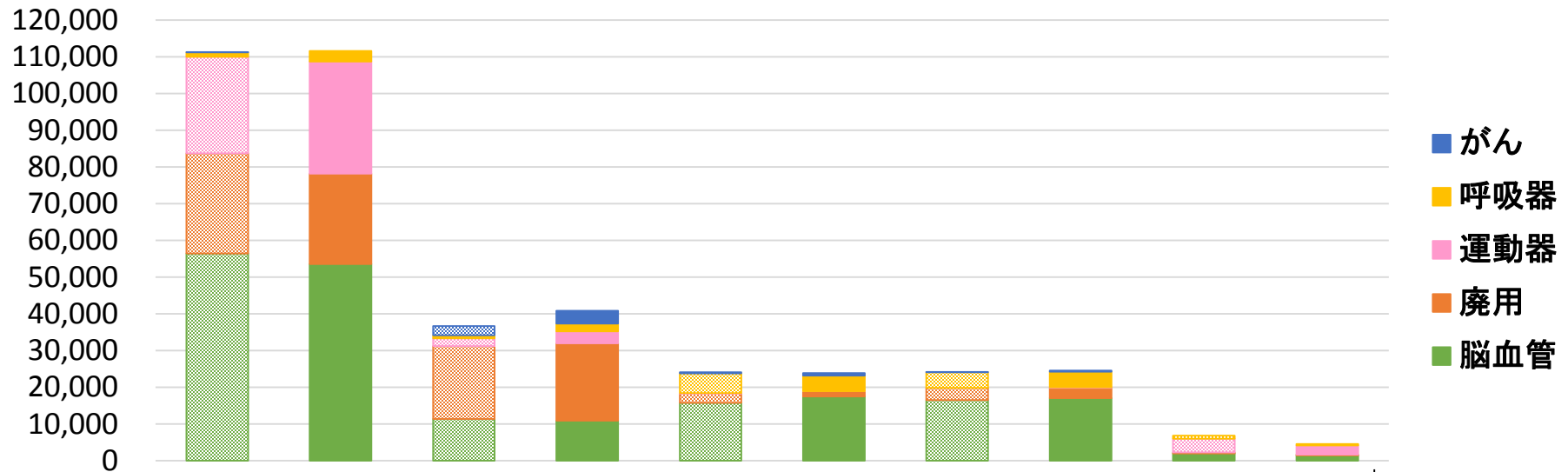
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)
がん	1	1	5	4	1	8	7	4	7	2	8	7	55
呼吸器	4	3	1	0	0	3	7	3	5	6	2	2	36
運動器	9	5	8	9	11	6	7	6	10	5	10	8	94
廃用	21	30	24	34	18	24	32	27	17	26	21	22	296
脳血管	15	10	16	12	13	13	10	18	12	11	8	11	149
合計(人)	50	49	54	59	43	54	63	58	51	50	49	50	630

疾患毎のPT・OT・ST 合計単位数前年比



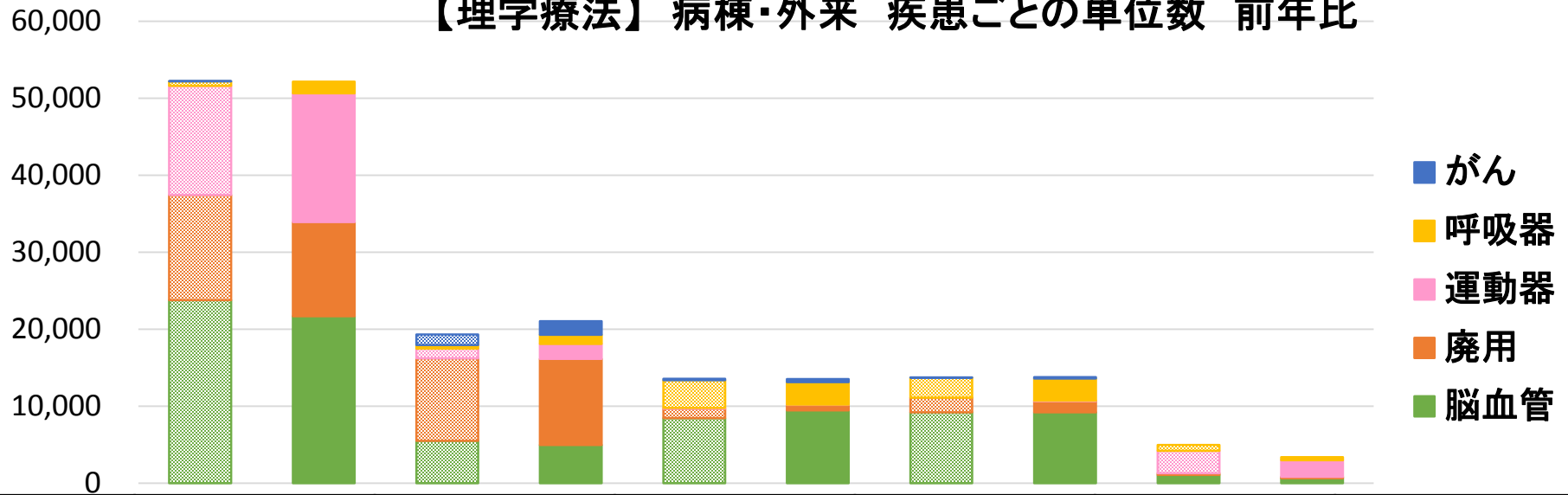
	脳血管	廃用	運動器	呼吸器	がん	合計(単位)
30年度	101,957	53,234	32,334	12,428	2,922	202,875
1年度	100,397	50,224	36,392	13,829	4,463	205,305

【各病棟・外来】 疾患ごとの リハビリテーション単位数 前年比



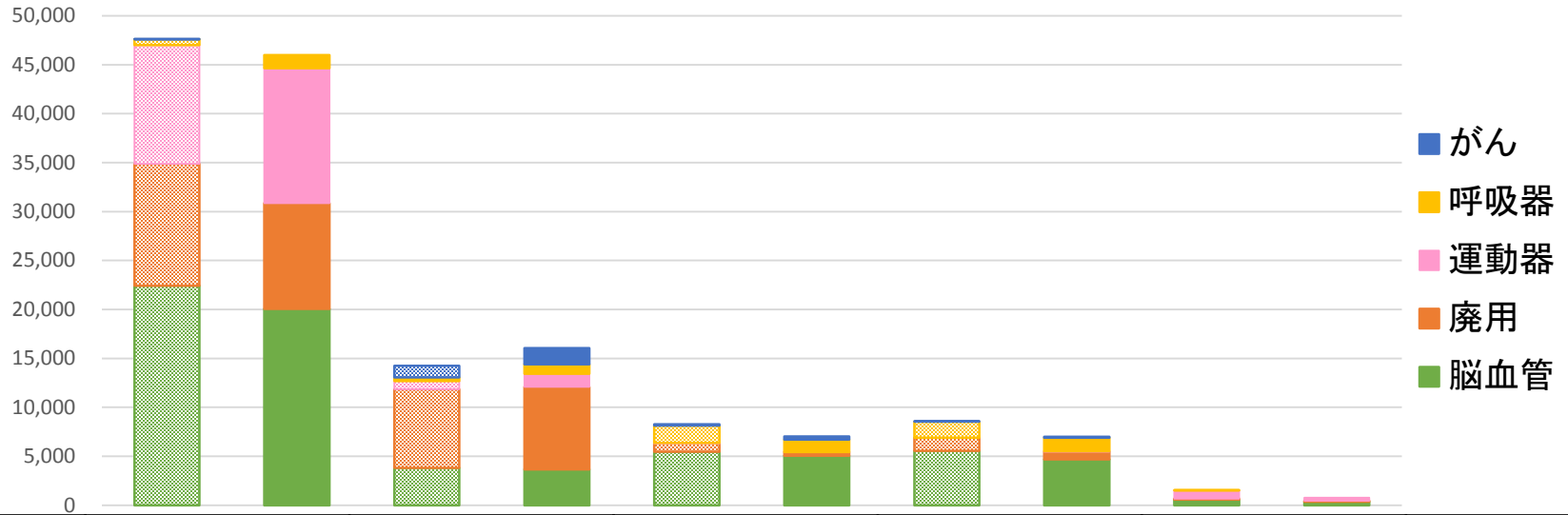
	回復期病棟		一般病棟		療養病棟 1 (コスモス)		療養病棟 2 (ひまわり)		外来		合計 (単位)	
	30年度	1年度	30年度	1年度	30年度	1年度	30年度	1年度	30年度	1年度	30年度	1年度
がん	17	0	2,558	3,448	324	729	23	286			2,922	4,463
呼吸器	1,178	2,863	816	2,111	5,363	4,173	4,257	4,268	814	414	12,428	13,829
運動器	26,297	30,507	2,131	3,295	184	33	0	109	3,722	2,448	32,334	36,392
廃用	27,308	24,653	19,808	21,055	2,466	1,403	3,337	2,834	315	279	53,234	50,224
脳血管	56,401	53,534	11,384	10,896	15,768	17,527	16,480	17,034	1,924	1,406	101,957	100,397
合計 (単位)	111,201	111,557	36,697	40,805	24,105	23,865	24,097	24,531	6,775	4,547	202,875	205,305

【理学療法】 病棟・外来 疾患ごとの単位数 前年比



	回復期病棟		一般病棟		療養病棟1 (コスモス)		療養病棟2 (ひまわり)		外来		合計 (単位)	
	30年度	1年度	30年度	1年度	30年度	1年度	30年度	1年度	30年度	1年度	30年度	1年度
がん	9	0	1,359	1,775	199	405	13	183			1,580	2,363
呼吸器	594	1,523	458	1,169	3,580	2,917	2,581	2,883	778	414	7,991	8,906
運動器	14,156	16,712	1,288	1,951	125	23	0	71	2,906	2,149	18,475	20,906
廃用	13,697	12,229	10,697	11,179	1,213	750	1,899	1,422	207	173	27,713	25,753
脳血管	23,756	21,693	5,504	4,959	8,450	9,436	9,208	9,202	1,079	638	47,997	45,928
合計 (単位)	52,212	52,157	19,306	21,033	13,567	13,531	13,701	13,761	4,970	3,374	103,756	103,856

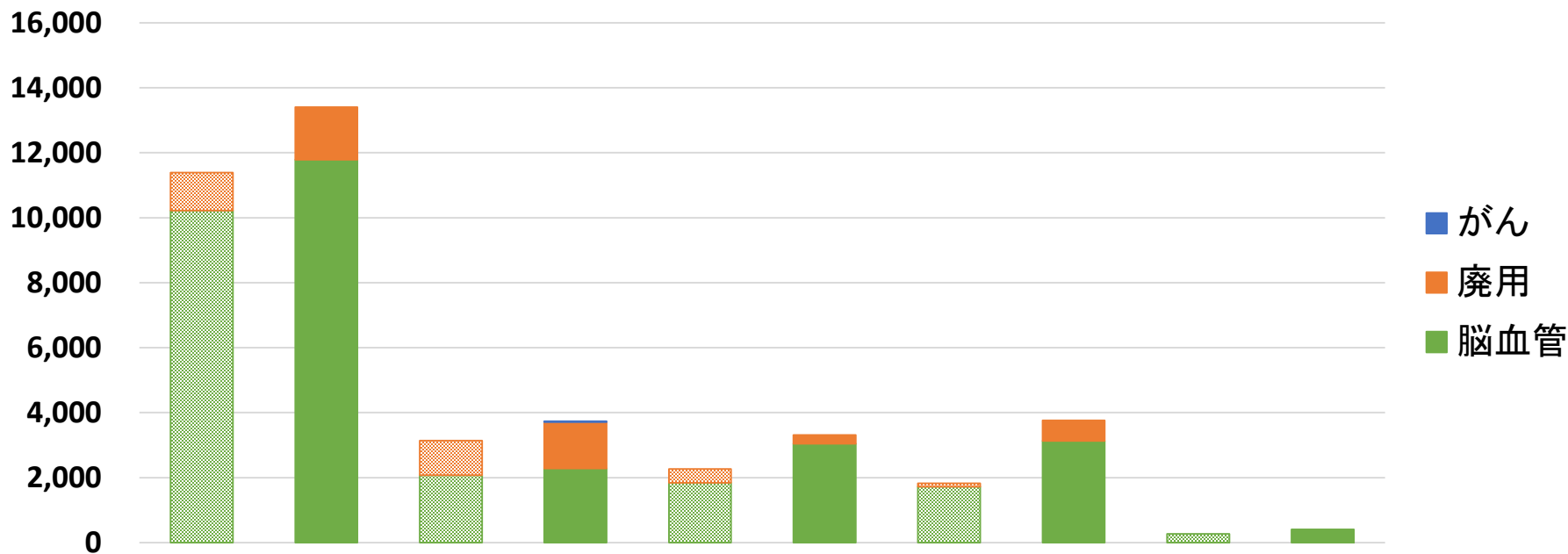
【作業療法】 病棟・外来 疾患ごとの単位数 前年比



- がん
- 呼吸器
- 運動器
- 廃用
- 脳血管

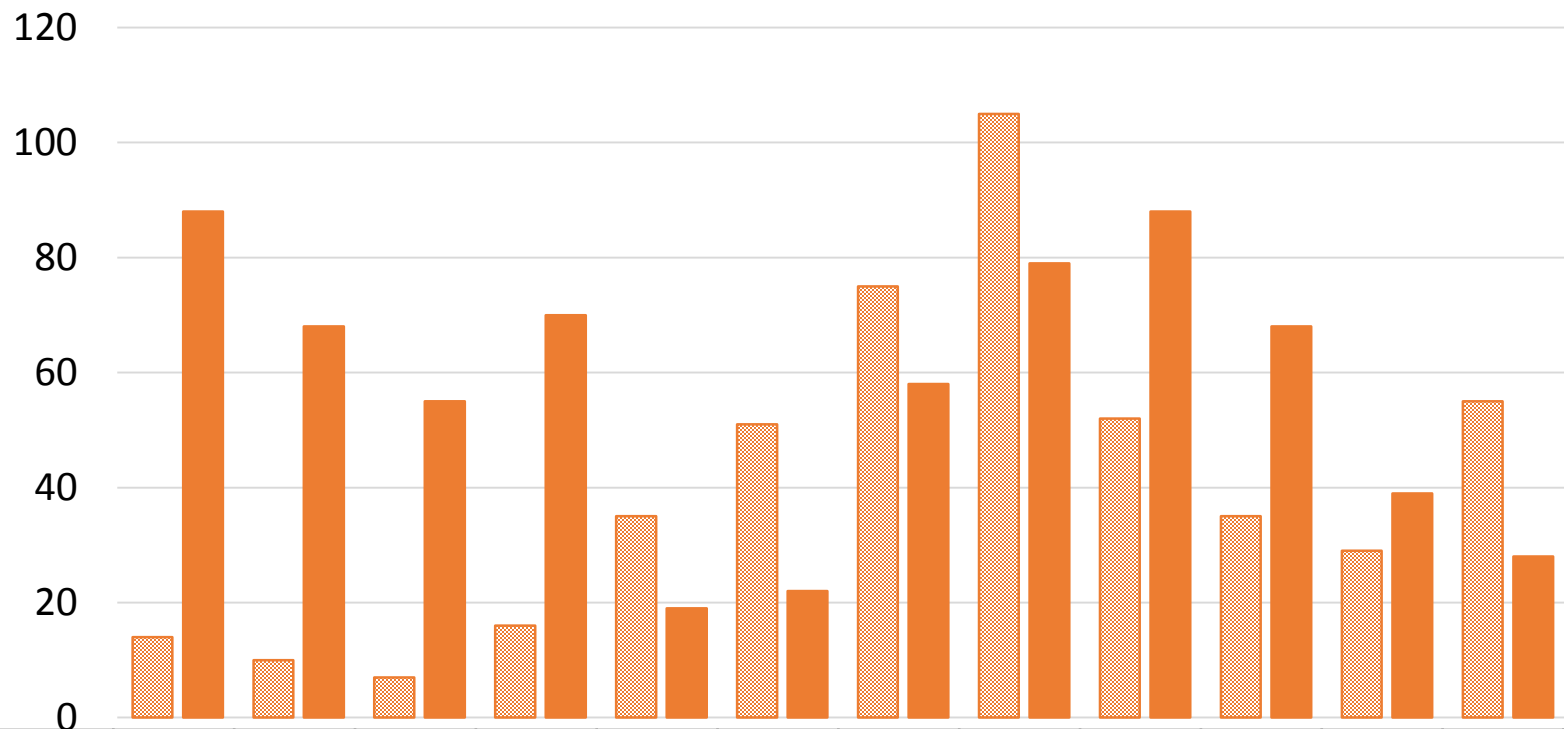
	回復期病棟		一般病棟		療養病棟 1 (コスモス)		療養病棟 2 (ひまわり)		外来		合計 (単位)	
	30年度	1年度	30年度	1年度	30年度	1年度	30年度	1年度	30年度	1年度	30年度	1年度
がん	8	0	1,199	1,647	125	324	10	103			1,342	2,074
呼吸器	584	1,340	358	942	1,783	1,256	1,676	1,385	36	0	4,437	4,923
運動器	12,141	13,795	843	1,344	59	10	0	38	816	299	13,859	15,486
廃用	12,443	10,809	8,046	8,452	837	389	1,335	779	108	106	22,769	20,535
脳血管	22,423	20,054	3,806	3,651	5,472	5,046	5,547	4,700	577	357	37,825	33,808
合計 (単位)	47,599	45,998	14,252	16,036	8,276	7,025	8,568	7,005	1,537	762	80,232	76,826

【言語療法】病棟・外来 疾患ごとの単位数 前年比



	回復期病棟		一般病棟		療養病棟1 (コスモス)		療養病棟2 (ひまわり)		外来		合計 (単位)	
	30年度	1年度	30年度	1年度	30年度	1年度	30年度	1年度	29年度	1年度	30年度	1年度
がん	0	0	0	26	0	0	0	0			0	26
廃用	1,168	1,615	1,065	1,424	416	264	103	633	0	0	2,752	3,936
脳血管	10,222	11,787	2,074	2,286	1,846	3,045	1,725	3,132	268	411	16,135	20,661
合計 (単位)	11,390	13,402	3,139	3,736	2,262	3,309	1,828	3,765	268	411	18,887	24,623

摂食機能療法



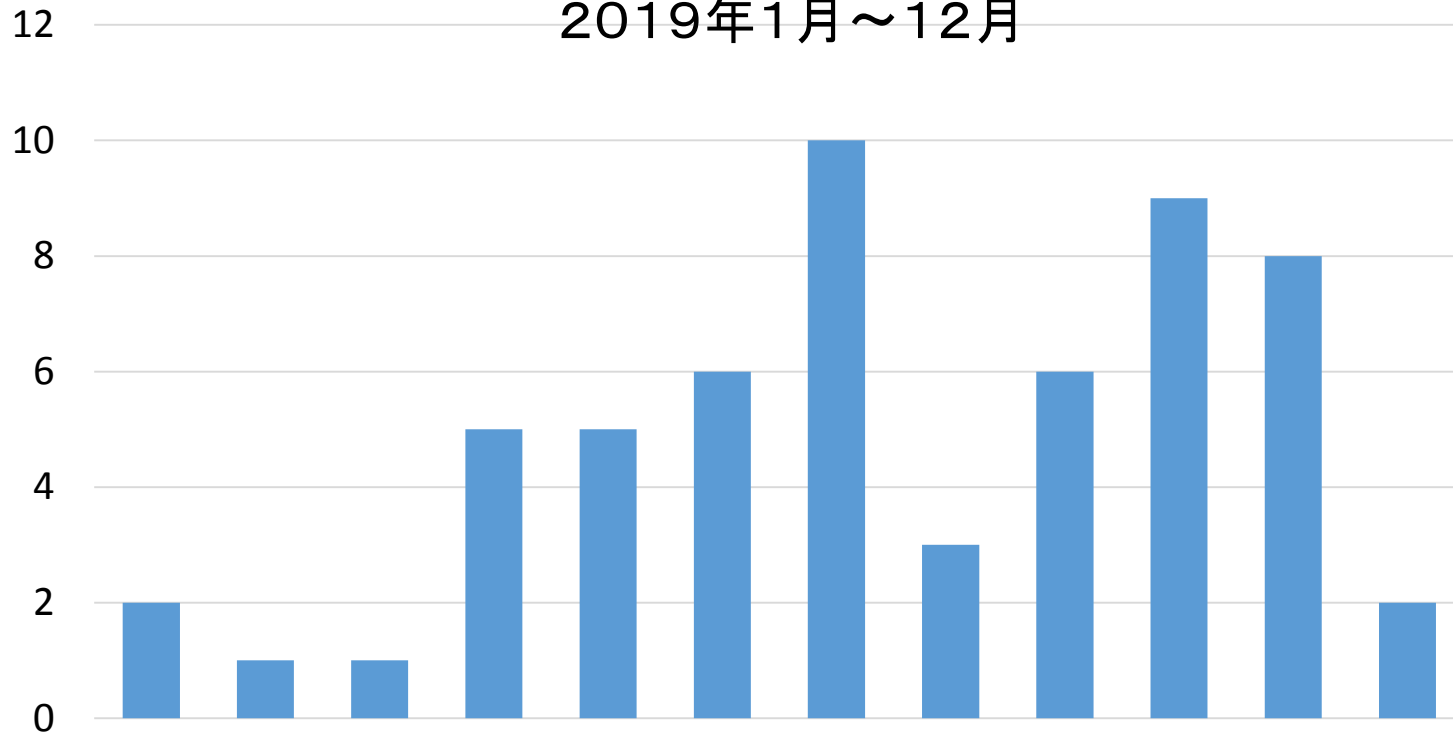
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(回)
平成30年度	14	10	7	16	35	51	75	105	52	35	29	55	484
令和1年度	88	68	55	70	19	22	58	79	88	68	39	28	682

■ 前年摂食機能療法施行数

■ 摂食機能療法施行数

時間内歩行距離検査 実施数(件数)

2019年1月～12月



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計 (件数)
検査数	2	1	1	5	5	6	10	3	6	9	8	2	59

- ・在宅酸素療法を施行している患者、在宅酸素療法を検討している患者が主な対象
- ・年4回を限定(1月～12月)
- ・2018年度 診療報酬改定から医師の指示により理学療法士による検査実施も可
- ・検査実施にあたっては、同一建物内に医師が居て常に連絡が取れる状態であることが条件。

リハビリテーション 従事者 平均単位数 前年比

※従事者1人につき1日18単位を標準

	平成30年度 平均単位数 (単位)	令和1年度 平均単位数 (単位)
理学療法	15.5	16.7
作業療法	16.3	16.8
言語療法	14.5	16.0